

2.山崎津跡第17次発掘調査報告

1. はじめに

山崎津跡は、平安京の外港として文献にみえる「山崎津」の推定地であり、古代から近世にかけての淀川河川交通に関わる遺跡である。これまでの16次にわたる発掘調査では、舟泊まりと推定される溝状遺構などが部分的に検出されている。

今回の発掘調査は、緊急河川敷道路整備事業に伴い、国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所の依頼を受けて実施した。平成22年度は10か所の調査区を設け発掘調査を進めたところ、1区で奈良から平安時代の遺物が多量に出土した。なお、調査成果の詳細については次年度に報告する予定である。なお、今回の調査に係る経費は、全額国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所が負担した。

〔調査体制等〕

現地調査責任者 調査第2課長 肥後弘幸

調査担当者 調査第2課課長補佐兼第1係長 小池 寛

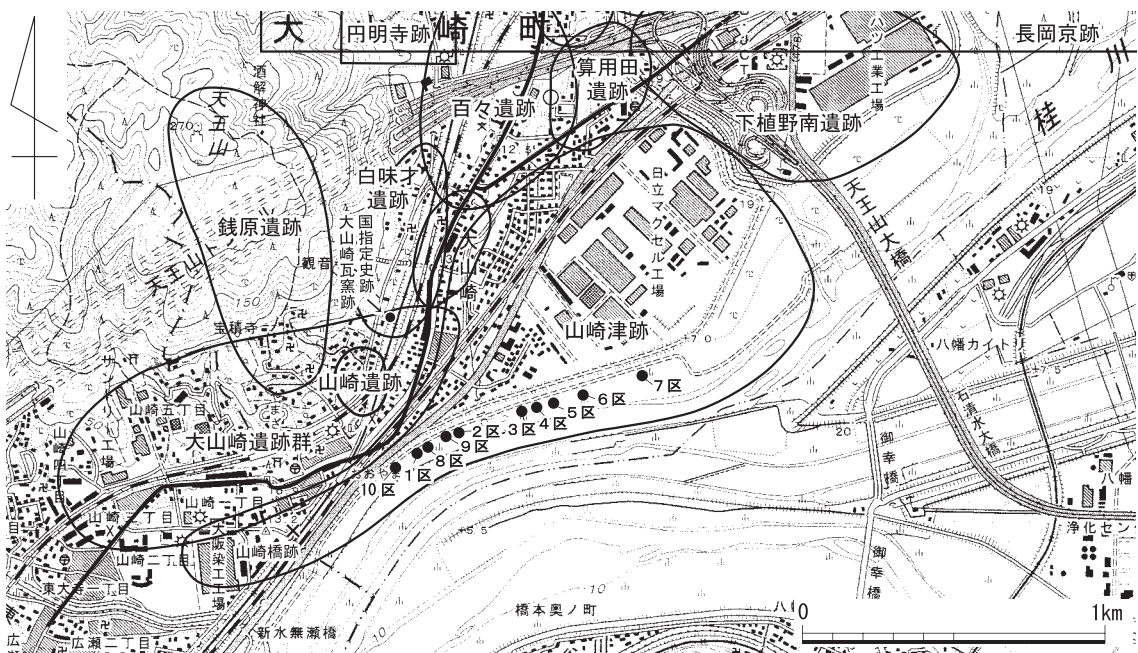
同 次席総括調査員 辻本和美

同 調査員 高野陽子・奈良康正・松尾史子

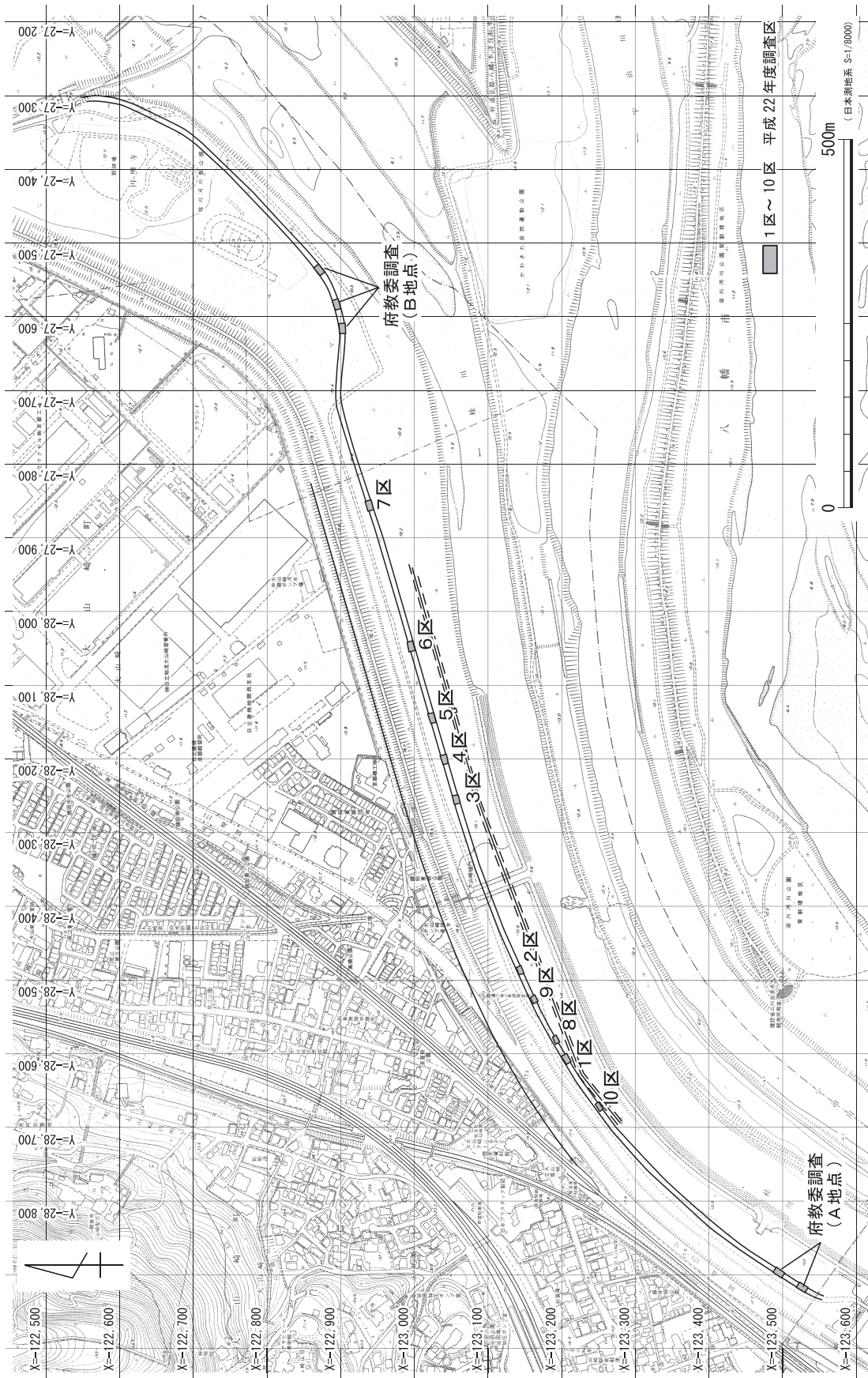
調査場所 乙訓郡大山崎町字大山崎

現地調査期間 平成22年12月14日～平成23年2月18日

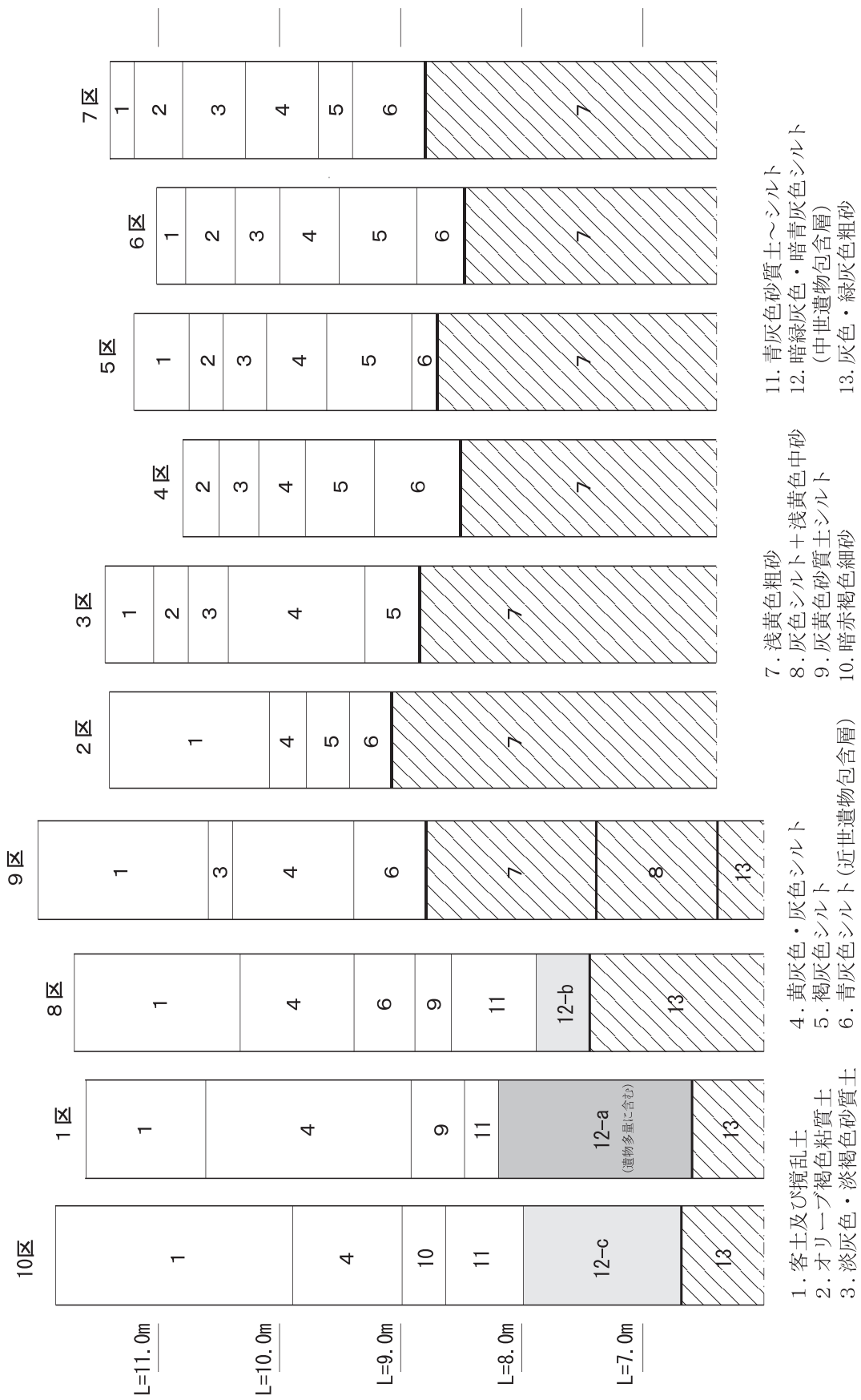
調査面積 800 m²



第1図 調査地周辺主要遺跡配置図(国土地理院 1/25,000 京都西南部・淀)



第2図 調査区配置図



第3図 調査区土層柱状図

2. 調査内容

平成22年度に京都府教育委員会による範囲確認調査^(注1)が行われているが、今回の調査では、京都府教育委員会による2か所の調査地点の間(約500m)に10か所の調査区を設け、遺構や遺物包含層の有無を確認する目的で発掘調査を実施した。調査は、南西部の1区から北東へ向け7か所の調査区を設定したが、1区で顕著な遺物包含層を確認したため、1区周辺にさらに8～10区を設定し、遺構や遺物包含層の広がりの確認に努めた。

1区は、現地表面の標高約11.4mを測る。現地表面から約1mには客土及び攪乱土が堆積し、その下層に黄灰色・灰色シルト、灰黄色砂質シルト、青灰色砂質土～シルト、暗緑灰色・暗青灰色シルトの順に堆積する。表土下約5mの標高6.7mにおいて基盤層である灰色・緑灰色粗砂を検出し、約1.5m以上の同層の堆積が続くことを確認した。表土下約3.5mの青灰色シルト～暗緑灰色シルト層(厚さ約1.2m)から遺物が多量に出土した。出土遺物は、12～13世紀の土器を中心とするが、わずかながら9～10世紀頃の土器も含まれる。また線刻瓦の一部や箸状の木製品なども出土している。

2～7区では、層位は基本的に現代の盛土と黄灰色・灰色シルト・灰黄色砂質シルトとした湿地状の堆積層からなり、その下層は、木津川の氾濫によるとみられる厚い砂層が堆積している。古代～中世の遺物包含層は確認していない(第3図)。7区では地表下1.8mで液状化による噴砂や堆積層の曲隆を確認した。層位および出土遺物から慶長・伏見大地震に起因すると考えられる。遺物は極めて少ないが、近世の陶磁器類が出土している。

1区で多量の遺物が出土したため、確認調査を行った8～10区では、古代～中世の遺物を包含する堆積層を確認した。遺物の出土量はわずかであるが、12～13世紀の土器が出土している。

3. まとめ

今回の調査では、桂川と大山崎の市街地に最も近接する地点にあたる1区において古代から中世の良好な遺物包含層を確認した。これを受けて調査を実施した8～10区でも遺物包含層を検出したが、出土量はわずかであり、遺物が集中するエリアが1区の周辺であることが判明した。出土遺物には土師器、須恵器、緑釉陶器のほか、「大」と墨書された白磁底部や「由□」と線刻された文字瓦などが出土している。これらの遺物はほとんど摩滅していないことから、隣接地に港(津)に関わる施設、あるいは集落等があった可能性が高く、この周辺が古代から中世における「山崎津」の一角を占める地点であると推定される。

(高野陽子)

注1 石崎善久「山崎津跡」(『京都府埋蔵文化財調査報告書(平成21年度)』 京都府教育委員会) 2010

(1) 調査区遠景(南西から)



(2) 調査区遠景(北から)



(3) 南部調査区近景
(1区・8区、西から)





(1) 1区全景(南西から)



(2) 3区全景(西から)



(3) 4区全景(西から)



(1) 5区全景(西から)



(2) 6区断ち割り調査(西から)



(3) 7区全景(西から)



(1) 8区全景(北東から)



(2) 9区全景(北東から)



(3) 10区全景(南西から)

京都府遺跡調査報告集 第153冊

平成24年3月31日

発行 公益財団法人
京都府埋蔵文化財調査研究センター
〒617-0002 向日市寺戸町南垣内40番の3
Tel (075)933-3877(代) Fax (075)922-1189
<http://www.kyotofu-maibun.or.jp>

印刷 三星商事印刷株式会社
〒604-0093 京都市中京区新町通竹屋町下ル
Tel (075)256-0961(代) Fax (075)231-7141